

むらづくり

住民生活に密着

平成21年度のむらづくりがスタートしました。村では厳しい財政状況の中、「最小の経費で最大の効果」を念頭において、さまざまな事業に取り組んでいきます。

今年度は、一般会計が25億2千500万円、特別会計が12億4千729万5千円、総額37億7千229万5千円の予算となりました。〔表1〕

一般会計では、前年度比1億3千万円(4.9%)の削減予算ではありませんが、新事業である子ども医療費助成事業(中学生までの医療費無料化)や緊急雇用創出基金事業(中学生までの医療費無料化)や緊急設計業務など)のほか、平成20年度補正予算に計上し、前倒しして実施している鮫川小学校および鮫川中学校の耐震補強改修工事と合わせて、100年に1度の経済危機といわれている状況の中、村民の生活に密着した予算の編成・執行を目指しました。



幼稚園卒園式(3月19日)

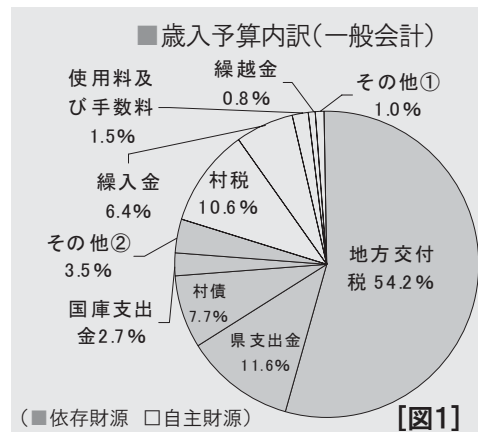
一般会計

【歳入】 依存財源が 全体の8割に

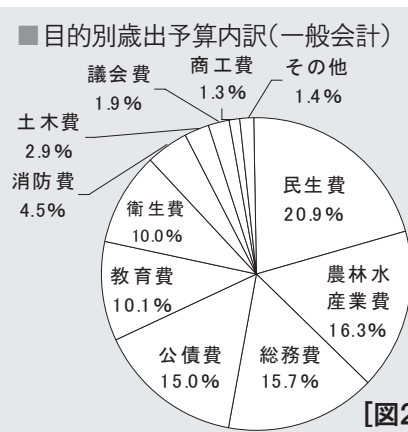
歳入(収入)のトップは、地方交付税(全国の自治体が一定の水準で事業が行えるように国から配分されるお金)の13億6千786万7千円で、歳入全体の54.2%を占めています。地方交

付税は前年度と比べると5千233万円(4.0%)の増額となっていますが、地方交付税を含めた依存財源(国や県から入ってくるお金)全体では、前年度に比べ1億1千973万2千円(5.6%)の減額となり、自主財源(村が自分の手で確保できるお金)が乏しい本村にとって厳しい予算編成になりました。

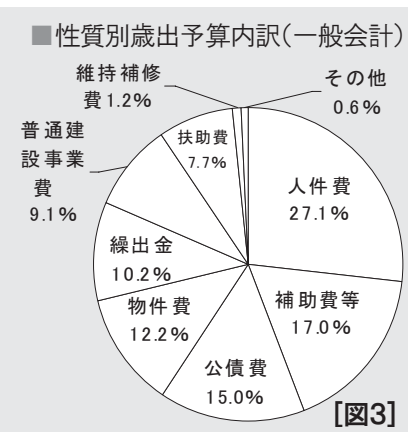
自主財源では、前年度に比べ1千26万8千円(2.0%)の減額となりました。これは、繰入金や使用料及び手数料で1千168万2千円(14.2%)の増額となっているものの、その他の携帯電話整備事業事業者負担金などの収入が2千206万2千円(80.5%)減ったことなどによるものです。〔図1〕〔表2〕



【図1】



【図2】



【図3】

会計別予算の状況〔表1〕

会計別	予算額	対前年度比	伸び率(%)
一般会計	25億2,500万円	△1億3,000万円	△4.9
特別会計	12億4,729万5千円	△4,156万4千円	△3.2
国民健康保険	4億8,100万円	△1,100万円	△2.2
事業勘定	8,800万円	△200万円	△2.2
直診勘定	20万2千円	5,274万1千円	△99.6
老人保健	8,422万6千円	△838万8千円	△9.1
簡易水道事業	736万円	7万9千円	1.1
村営バス事業	3,074万6千円	△110万4千円	△3.5
集落排水事業	3億6,544万3千円	4,733万7千円	14.9
介護保険	2,041万1千円	△278万9千円	△12.0
交流施設	1億3,517万8千円	△496万円	△3.5
学校給食センター	3,472万9千円	△599万8千円	△14.7
後期高齢者医療	37億7,229万5千円	△1億7,156万4千円	△4.4
予算総額			

一般会計歳入予算の状況〔表2〕

区分	予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
自主財源	5億1,309万4千円	20.3	△1,026万8千円	△2.0
村税	2億6,811万6千円	10.6	11万2千円	0.0
繰入金	1億6,096万4千円	6.4	885万3千円	5.8
使用料及び手数料	3,661万3千円	1.5	282万9千円	8.4
繰越金	2,000万円	0.8	0円	0.0
その他①	2,740万1千円	1.0	△2,206万2千円	△80.5
依存財源	20億1,190万6千円	79.7	△1億1,973万2千円	△5.6
地方交付税	13億6,786万7千円	54.2	5,233万円	4.0
村債	1億9,490万円	7.7	△8,020万円	△29.2
県支出金	2億9,391万1千円	11.6	1,224万3千円	4.3
国庫支出金	6,821万8千円	2.7	△9,540万5千円	△58.3
その他②	8,701万円	3.5	△870万円	△9.1
計	25億2,500万円	100.0	△1億3,000万円	△4.9

※その他①=分担金及び負担金、財産収入、寄附金、諸収入/その他②=地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

一般会計目的別歳出予算の状況〔表3〕

区分	予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
民生費	5億2,845万1千円	20.9	△1億2,372万1千円	△19.0
農林水産業費	4億1,131万3千円	16.3	688万2千円	1.7
総務費	3億9,624万9千円	15.7	△1,593万6千円	△3.9
公債費	3億7,945万5千円	15.0	△825万8千円	△2.1
衛生費	2億5,505万5千円	10.1	4,408万5千円	20.9
教育費	2億5,432万4千円	10.0	820万9千円	3.3
消防費	1億1,274万6千円	4.5	196万5千円	1.8
土木費	7,326万6千円	2.9	△6,589万8千円	△47.4
議会費	4,774万2千円	1.9	8万1千円	0.2
商工費	3,169万2千円	1.3	290万3千円	10.1
その他	3,470万7千円	1.4	2,849万8千円	131.1
計	25億2,500万円	100.0	△1億3,000万円	△4.9

※その他=災害復旧費、労働費、予備費

一般会計性質別歳出予算の状況〔表4〕

区分	予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
人件費	6億8,472万2千円	27.1	△492万3千円	△0.7
補助費等	4億2,974万4千円	17.0	1,294万7千円	3.1
公債費	3億7,945万5千円	15.0	△825万8千円	△2.1
物件費	3億875万7千円	12.2	5,267万3千円	20.6
繰出金	2億5,624万円	10.2	1,085万3千円	4.4
普通建設事業費	2億3,006万9千円	9.1	△2億95万7千円	△46.6
扶助費	1億9,440万2千円	7.7	1,282万2千円	7.1
維持補修費	2,960万1千円	1.2	586万9千円	24.7
その他	1,201万円	0.6	△1,102万1千円	△134.3
計	25億2,500万円	100.0	△1億3,000万円	△4.9

※その他=災害復旧費、投資及び出資金、貸付金、積立金、予備費

次に歳出予算を見てみましょう。目的別では、民生費が5億2千845万1千円(20.9%)と最も多く、次いで農林水産業費の4億1千131万3千円(16.3%)、総務費の3億9千624万9千円(15.7%)、公債費の3億7千945万5千円(15.0%)、教育費の2億5千505万5千円(10.1%)と続いています。〔図2〕〔表3〕

一方、性質別では、人件費が6億8千472万2千円(27.1%)と最も大きく、続いて、前年度と比べて492万3千円(0.7%)減額となっています。次いで、補助費等の4億2千974万4千円(17.0%)、公債費の3億7千945万5千円(15.0%)、物件費の3億875万7千円(12.2%)の順に続いています。

普通建設事業費は旧西山小学校を改修して行った介護老人福祉施設整備事業の完了や村道関下関口線舗装事業の減などにより2億95万7千円(46.6%)の減となりました。〔図3〕〔表4〕

特別会計

全体で 対前年度3%の減

特別会計とは、特定の事業を特定の収入で行うために、独立して設けた会計をいいます。平成21年度は、国民健康保険(事業勘定・直診勘定)、老人保健、簡易水道事業、村営バス事業、集落排水事業、介護保険、交流施設、学校給食センター、後期高齢者医療の9つの会計で運営します。これら特別会計予算の総額は12億4千729万5千円となり、前年度に比べ4千156万4千円(3.2%)の減額となりました。

平成21年度当初予算

全会計総額 約37億7,229万5千円

[対前年度比1億7,156万4千円(4.4%)減]

主な事業概要④

＜農村の人づくりと産業ビジョン＞
地域から世界を見ることが出来る人材を育成し、消費者と生産者の密接な関係を構築する村の実現

【学校教育の充実】

- 基礎学力向上推進支援事業(学習支援員ほか) 410万1千円
- ふるさと後継者育成事業(中学校修学旅行助成) 52万円
- 青生野小学校校舎耐震補強・大規模改造工事設計業務 377万2千円
- スクールバス購入 1,160万円

【健康づくり・自主的スポーツ活動】

- ふくしま駅伝実行委員会補助 129万円

【安心安全、顔の見える農業の振興】

- 中間地域等直接支払交付金事業 1億2,503万8千円
- 水田作付条件整備事業(暗渠排水) 200万円
- バイオマスヴィレッジ事業(施設設計業務、整備) 4,399万7千円
- 肉用牛生産振興事業(輸送経費補助、ヘルパー補助) 170万円
- 優良牛整備増殖事業 120万円

【ふるさとの森を守り育てる】

- 松くい虫防除事業(被害木伐倒駆除) 387万5千円
- 県単治山施設事業(3地区)【新規】 799万円

【商工業の振興】

- 商工業振興事業(商工会補助など) 354万円

【村の特徴を活かした観光の振興】

- 観光推進事業(うまいもの祭り補助など) 257万7千円

【その他】

- 地籍調査事業(前ノ沢地区) 1,175万2千円
- 緊急雇用創出基金事業、ふるさと雇用再生特別基金事業 3,046万円



主な事業概要③

＜農村の暮らしビジョン＞
みんなが安心して生活できる村の実現

【安心生活ができる公共交通づくり】

- 生活バス路線運行費 933万円
(福島交通バス運行費補助、村営バス繰出金)

【安心生活を支える情報】

- 携帯電話用鉄塔施設整備事業(戸草地区)【新規】 4,672万9千円
- 高度情報化事業(白河広域ネットワーク負担金など) 865万7千円

【多様な暮らしの工夫】

- 地域住宅交付金事業【新規】 200万円
(火災警報器・地上デジタル対応工事)

【火災と災害への備え】

- 常備消防負担金 7,559万5千円
- 消防施設整備事業(小型動力ポンプ更新ほか) 427万2千円
- 消防活動費(活動服購入) 456万9千円

【安心生活ができる保険・医療・福祉の充実】

- 住民健康診査事業(基本健診、がん検診など) 1,209万8千円
- 予防接種事業(乳幼児予防接種、インフルエンザなど) 432万3千円

【安心生活ができる高齢者の保健と福祉の充実】

- 高齢者生活支援事業(緊急通報システム借料、紙おむつ給付) 683万6千円
- 一般高齢者支援事業(筋力づくり教室など) 523万5千円

【子育て支援体制づくり】

- 乳幼児紙おむつ給付事業 300万円
- 保育業務 1億1,192万9千円
- こどもセンター費(子育て支援事業など) 2,581万9千円
- こども医療費助成事業(社保・国保) 1,655万3千円
- 妊産婦医療費助成事業 53万2千円
- 妊婦一般健康診査 289万6千円
- 幼稚園児教育費 2,712万8千円
- 放課後児童クラブ事業(運営費) 276万円

【障害者の支援体制づくり】

- 重度障害者支援事業費(重度心身障害者医療費) 1,051万1千円
- 障害者福祉事業費 8,065万4千円
(障害者自立支援給付費、身体障害者更生医療給付費など)

主な事業概要②

＜農村の環境ビジョン＞
自然や動植物と共存し、農村環境を創る村の実現

【道路網・道路環境の整備】

- 村道世々麦西谷地線舗装事業 500万円
- 村道維持補修・国県村道除草作業 2,168万3千円
- 県単林道改良事業(3路線)【新規】 867万5千円
- ふるさと林道緊急整備事業【新規】 2,450万円
(林道酒垂宝木線改築工事)
- 県営農道整備事業負担金 546万6千円

【水を大切に、環境に配慮した排水の処理】

- 合併処理浄化槽整備事業(7人槽20基) 828万円

【その他】

- 東白衛生組合・東白斎苑運営費負担金 7,220万7千円

【簡易水道事業特別会計】

- 岩野草給水施設整備事業 1,495万9千円

平成21年度予算編成方針

国の経済は、リーマンブラザーズの経営破たんに端を発した米国発の金融危機など世界経済の厳しい状況に直面しており、今後これらの動向を注視し、本村の財政運営を見極めていかなければならない状況下にあります。

また県においては、「三位一体改革」とそれに続く「歳入・歳入一体改革」の影響をもちに受け、歳入の抜本的な見直しを余儀なくされています。

厳しい財政状況のもと、本村が将来にわたり持続可能な財政バランスを保ちつつ発展していくためには、健全で安定した財政基盤の確立のもと、住民が未来に向かって明るい希望を持てるような施策や事務事業を効果的、効率的に展開していくことが求められています。

前例や慣例にとらわれることなく、すべての事務事業について見直しを行い、費用対効果をしっかりと見極め、緊急性や優先度を明らかにしながら施策の選別と重点化をすすめ、職員一人ひとりの創意と工夫により、少ない財源を効果的に活用し、第3次鮫川村振興計画の村づくりの目標である4つの主要事業の実現のために施策を推進するとともに、将来にわたり村が自立していくために財政の健全化を一層推進することを基本として、基本方針とします。

鮫川村長 大樂 勝弘

主な事業概要①

＜農村の再生ビジョン＞
独自の優れた資源を発見し、みんなで知恵を出し、心豊かに暮らし続けられる村の実現

【環境と健康を食べる】

- 大豆振興対策事業 1,008万4千円
(大豆種子購入、大豆購入補助など)
- 農産漁村活性化プロジェクト支援交付金事業(米粉製造機購入など) 409万円
- 農村振興事業(グリーンツーリズム推進、エゴメ鶏開発など) 198万7千円

【農村の景観と文化を生かす】

- 森林環境税交付金事業(重点枠事業：館山公園整備) 422万9千円

村民1人当たりに使われるお金は
594,958円【△21,338円】です。

【一般会計歳出予算額：平成21年3月1日現在の人口4,244人で計算。【】内は対前年比。平成20年度は平成20年3月1日現在の人口4,308人で計算。】

民生費	高齢者や子ども、障害者などの福祉のためのお金	124,517円 【△26,870円】
農林水産業費	農林業の振興や農林道の整備などのためのお金	96,916円 【3,037円】
総務費	選挙、戸籍、徴税、広報紙発行などのためのお金	93,367円 【△2,311円】
公債費	地方債(村の借入金)を返済するためのお金	89,410円 【△588円】
教育費	学校教育や生涯学習、体育振興などのためのお金	60,098円 【11,126円】
衛生費	保健事業や予防接種、環境衛生などのためのお金	59,926円 【2,796円】
消防費	消防施設の整備や消防団活動のためのお金	26,566円 【851円】
土木費	道路や橋、住宅を整備・維持するためのお金	17,263円 【△15,041円】
議会費	村議会運営のためのお金	11,249円 【186円】
労働費	雇用創出のためのお金	7,203円 【7,177円】
その他	商工業の振興、災害復旧などのためのお金	8,443円 【△1,701円】